

弘法さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

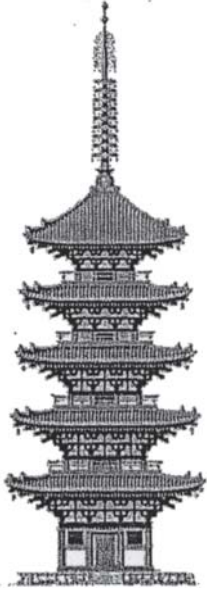
Kouhei@oh-kouhei.org

皆さん、こんにちは。立秋も過ぎましたが、まだまだ暑い日が続きます。くれぐれもご自愛ください。**最澄、空海後の仏教**がテーマの今年のかかわら版。今月は**室町仏教**についてです。

★鎌倉六宗派

奈良時代の**南都六宗**(三論宗、成実宗、法相宗、俱舍宗、華嚴宗、律宗)に限界を感じた**最澄**と**空海**が**天台宗**と**真言宗**を開いた平安時代初期。

やがて、政治の混乱(保元の乱、平治の乱)や天変地異、飢饉などで人心が荒廃し、**末法思想**が広まった平安時代末期から鎌倉時代初期。人々は現世の混乱や貧困を悲観し、来世での幸せを願うようになります。そうした中で誕生した新しい仏



教。**法然**の浄土宗、**親鸞**の浄土真宗、**一遍**の時宗、**栄西**の臨済宗、**道元**の曹洞宗、**日蓮**の日蓮宗が**鎌倉六宗派**です(先月号まで参照)。

★南北朝時代から室町時代へ

一一九二年から始まった鎌倉幕府。**元寇**後の恩賞不足、執権・北条得宗家の専横などへの御家人の不満が高まり、やがて**後醍醐天皇**に呼応して**足利尊氏**、**新田義貞**が蜂起。一三三三年、鎌倉幕府は滅亡しました。

その後、後醍醐天皇による**建武の新政**が行われましたが、三年で崩壊。足利尊氏が**室町幕府**を開くとともに、朝廷が分裂し、約六十年間の**南北朝時代**に突入。一三九二年(明德三年)、三代將軍**足利義満**の下で**明德の和約**が成立。南朝の**後龜山天皇**が吉野から京都に入り、北朝の**後小松天皇**に**三種の神器**を譲って退位。南北朝が統一され、本格的な**室町時代**が始まりました。

★夢想疎石(むそうそせき)

室町時代は**武家文化**が花開いた

時代。そして、武家文化と結びついて繁栄したのが**臨済宗**です。その礎となったのは、北条家、後醍醐天皇、足利家のいづれからも信頼を得ていた臨済僧、**夢想疎石(一二七五〜一三五一年)**。

足利尊氏、**直義**兄弟は疎石に帰依し、元寇の犠牲者や後醍醐天皇の菩提を弔うために全国六十六国二島に**安国寺**を建立。

疎石が仏教諸宗の融合を説いたこともあり、公家の帰依者も増加。やがて、活動の拠点は鎌倉から京都に移りました。

足利義満は中国(宋)に倣い、臨済宗に**五山十刹**(ござんじゅうさつ)を定め、寺の秩序を整えます。

南禅寺を五山の上とし、京都では**天竜寺**・**相国寺**・**建仁寺**・**東福寺**・**万寿寺**、鎌倉では**建長寺**・**円覚寺**・**寿福寺**・**浄智寺**・**浄妙寺**を五山としました。

やがて五山は、仏教よりも政治や文化の拠点となり、儒学や文学が盛んになりました(**五山文学**)。しかし、仏教から離れた五山はやがて衰退。臨済宗の中心は大徳



重文 木造夢窓疎石坐像
南北朝時代 瑞泉寺(鎌倉市)

寺、妙心寺に移ります。

★瑩山紹瑾(けいざんじょうきん)

臨済宗と並ぶ禅宗の雄は**曹洞宗**。京都の公家や武家に広まった臨済宗とは対照的に、地方の大名や庶民に浸透していきます。

越前に**総持寺**を建立した**瑩山紹瑾(一二六八〜一三三五年)**が曹洞宗の中興の祖。曹洞宗は**永平寺**と**総持寺**(その後、関東の鶴見に移転)を両本山として発展します。

浄土宗でも、小石川伝通院を開いた**聖因(しょうい)**、増上寺を建立した**聖聰(しょうそう)**などを輩出し、室町時代の庶民に信仰が広まりました。



木造瑩山紹瑾座像

★一向宗(いっこうしゅう)

室町時代はやがて**戦国時代**、**安土桃山時代**へと移ります。その時代に圧倒的な存在感を示したのが**一向宗**と呼ばれた**浄土真宗**。

来月は、**一向宗の興隆**をお伝えします。乞ご期待。